

- 第28回市議会定例会
..... P 2~3
- 国道342号再開通記念登山
..... P 4
- 暮らしの情報
..... P 8~11



一関から全国を目指すチームが誕生
最年少の17歳は
チーム期待の未来のエース

フットサルクラブ
「ヴィヴァーレー一関」最年少選手

澤田和樹さん

小学4年からサッカーを始め、
桜町中ではフォワードとして活躍。
22年4月からフットサルを始める。
狐禅寺。一関工業 高2年



室内で行う5人制のミニサッカー、フットサル。攻守の切り替えが早く、ゴール前の攻防が多いので、見てもプレーしても楽しいスポーツと近年爆発的に競技人口が増えています。

この4月、フットサルを通じてまちづくりや人材育成を行っているこうとするファンズポルト一関がクラブチーム「ヴィヴァーレー一関」を設立。フットサル日本選抜やFリーグの「ステラミゴいわて花巻」などでの競技経験のある浅利真監督がチームを率います。6月から岩手県フットサルリーグに参戦し、2連勝。今シーズンは県リーグ優勝を目標とし、将来は国内最高峰のFリーグを目指します。

18人の登録選手の中で、最年少の澤田和樹さん。進学先の高校でサッカー部がなかったことからサッカーのクラブチームでプレー。フットサルはこの4月から始めたばかりです。「フットサルは攻守の切り替えが早いのでついていくのが大変。ボールの扱いもサッカーと違う」と戸惑いながらも「1回1回の練習に集中して取り組み、強くなりたい」と上を目指します。

浅利監督は「フットサルはサッカーと似て異なる競技。サッカーはある程度やっつけてからフットサルに転向する選手が多い中、澤田選手のように若いころから専門的にプレーする選手が増えることで競技力は劇的に変わる」とした上で「澤田選手にはこのチームとともに成長し、未来のエースになってほしい」と期待を込めます。